

### 俳諧 春夏秋冬

一、誤字に注意！ 諧 「階」としないこと。 誤読に注意！ 発句（ほつく）

※切れ字※ 「けり」…詠嘆を表します。慣用句に「決着をつける」「結末を迎える」意味の「けりをつける」という言葉がありますが、俳句や短歌に詠嘆の助動詞「けり」をつけて締めくくるところからできたと言われています。

- 貞門俳諧…松永貞徳
- 談林俳諧…西山宗因
- 蕉風俳諧…松尾芭蕉
- 中興俳諧…与謝蕪村
- 文化文政期の俳諧…小林一茶

〈参考〉月並俳句…正岡子規の批判は、江戸末期の俳諧が、俗受けをねらって模倣と言回しの工夫に終始し、類型に陥っていたからとされる。

#### 蕉門十哲

宝井其角（たからいきかく）蕉門第一の高弟。  
 服部嵐雪（はっとりらんせつ）其角とならんで蕉門の双璧をなす。  
 内藤文草（ないとうぶんそう）  
 向井去来（むかいきよらい）別荘「落柿舎」を所有。  
 森川許六（もりかわきよろく）画の名人で芭蕉に画を教える。  
 杉山杉風（すぎやまさんぷう）芭蕉の経済的支援者。  
 各務支考（かがみしこう）  
 立花北枝（たちばなほくし）「奥の細道」道中の芭蕉と出会い入門。  
 越智越人（おちえつじん）「更科紀行」の旅に同行。  
 志太野坡（しだやば）芭蕉の遺書を代筆。

二、「雪月花」の句 卯木…卯月（旧暦四月…夏の初め）

「浮き世」の句 井原西鶴『好色一代男』、『世間胸算用』  
 「奈良七重」の句 全て漢字という特徴があります。読めるようになっておきましょう。「ならしちへしちだうがらんやへざくら）  
 「月や霰」の句 上田秋成『雨月物語』

◎レポートに出てくる全ての句について、(1)俳人名（人名は読み書きともにできること）、(2)季語、(3)季節を覚えておきましょう！



短歌も俳句も  
 5と7という素数の組み合わせ。  
 5 + 7 + 5 (俳句) = 17も素数  
 5 + 7 + 5 + 7 + 7 (短歌) = 31も素数

素数が何故、日本人の耳に心地よいのか、不思議ですね。数学の先生にも尋ねてください。

通信欄の俳句も必ず作ること！  
 作ってなければ、「再提出」  
 とします。